様式1

平成２７年度指定管理者モニタリング評価表

施　設　名	羽咋市老人福祉センター		
指定管理者	羽咋市社会福祉協議会		
住　　所	羽咋市鶴多町亀田１７番地	選定方法	公募
指 定 期 間	平成２３年４月１日 ～ 平成２８年３月３１日		
指定管理料	１２，６００千円（平成２７年度現計予算額）		
評価担当課	健康福祉課		
年度重点目標	各町で運営しているサロン等への積極的な呼びかけによる新規利用者の開拓や、人気講座の充実による既存利用者の維持を図る。		

評価項目		評価する内容の詳細	評価 中間	評価 年間	確認方法	備　考
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		現地	勤務日誌確認、出勤簿は社協にて保管
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		現地	社協全体で６月に実施。 秋にも予定あり。
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。（届出済みの業務委託部分は除く）	A		現地	すべての再委託については市へ届出をしている
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		現地	管理台帳確認
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	・イベント前は利用者が奉仕作業 ・月１回ボランティアによる奉仕作業
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A		現地	管理台帳確認
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A		現地	管理台帳確認 ※地下タンク修繕済み
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		現地	管理台帳確認（備品の老朽化による廃棄等）
3	サービス向上への取組状況（アンケート調査による意見及び対応は項目9に）	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		現地	社協のホームページ、各種チラシ、ケーブルテレビなどで行事等の啓発
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		現地	各教室の利用者で認知症の方については、職員及び各教室の協力で利用を継続している。
		利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A		現地	７月実施済
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		現地	苦情だけでなく、各種要望に可能な限り対応
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		現地	連絡網整備済み。訓練は年２回実施予定。
		リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		現地	施設、バスに関する損害保険は市で加入 行事対応は社協

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A		現地	ロッカーに施錠して保管
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		現地	書類関係は社協にて保管 経理は区分けして処理
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A		現地	利用者数の減少による利用料の減額が懸念されたが、上半期は前年同期から微減。
		定められた料金を適正に収受しているか。	A		現地	利用料金については別紙参照
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数･施設稼動率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A		現地	地下タンク修繕期間（4/13～5/6）に浴場休業していたため、上半期は大幅な減少となっている。
8	市への報告体制の確保	月例報告･実績報告･その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		書類	3ヶ月に1度月報提出（3ヶ月分）
9	アンケート調査意見及び対応	要望により昨年度から実施しているリズムダンス教室とウォーキング教室は継続している。大広間で使用できる椅子を購入し、各種イベント時の使用で好評を得ている。学童保育との交流事業で大道芸の講演を2度実施した。現在の指定管理料の金額では講師料の捻出に苦慮している。				
10	今後、検討･調整が必要な事項	全体的に、施設自体や、設備等の老朽化が激しく、修理修繕箇所が頻発している。特に冷暖房設備は設置後１３年以上経過しており、正規部品が生産終了しているため、故障に対応できない恐れがある。バスも同様に２０年以上経過しており、いずれも更新が必要である。また、新規の利用者の開拓のためにも、施設名称の変更も検討する必要がある。				
11	今後の管理方針	既存利用者が減少する中、新規利用者の開拓に尽力し、利用者数を少なくとも現状維持できるよう努める。各種イベントを企画する上で、講師の開拓にも努める。				

総合評価	中間評価	年間評価	平成26年度	平成25年度
	A		A	A